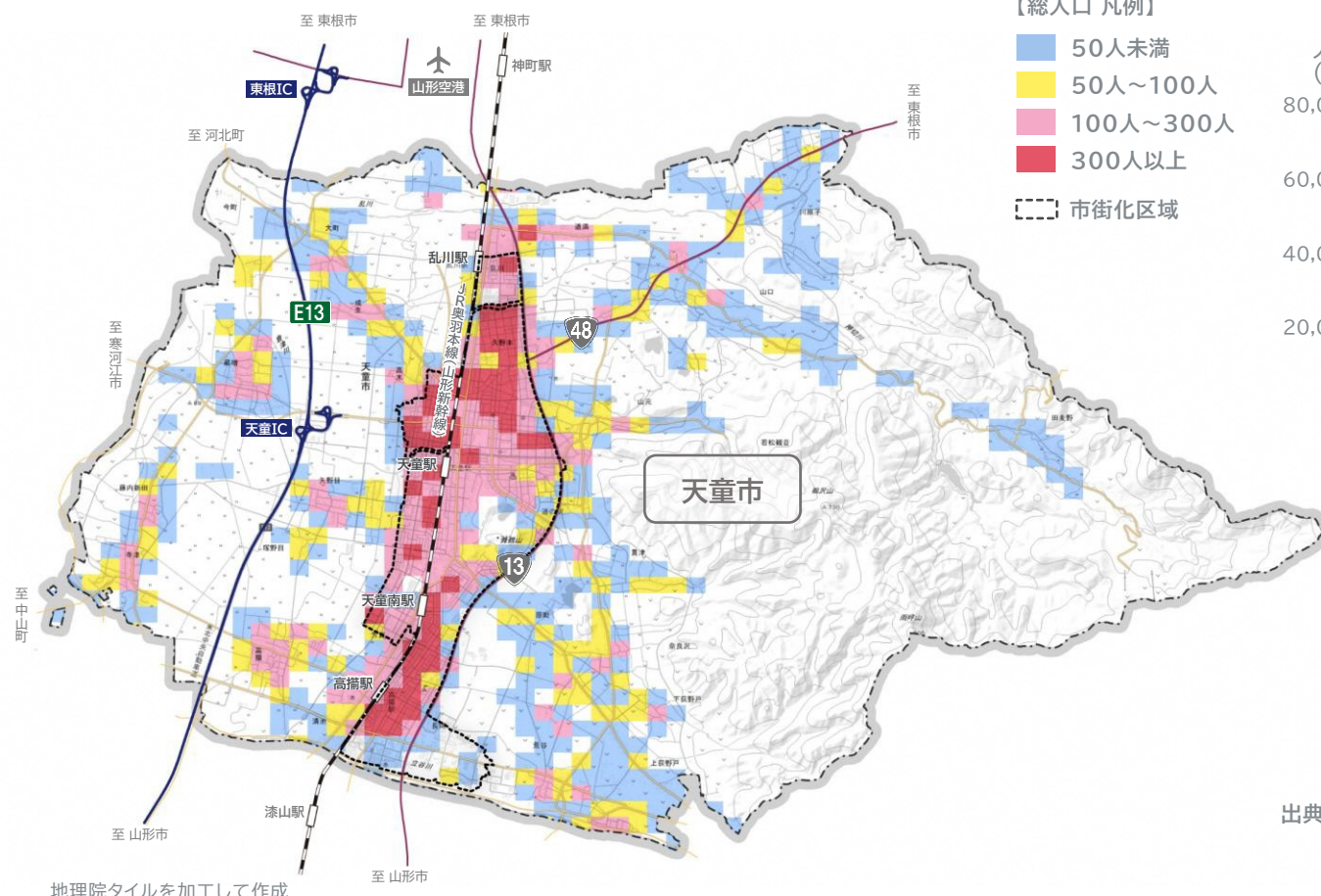




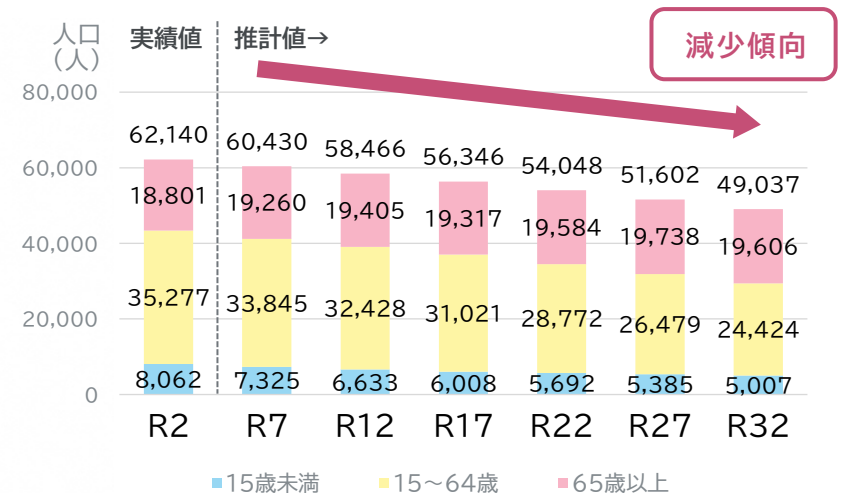
○人口分布(総人口)

- ・天童市の人口は令和2年時点で約6.2万人となっている。また、市街化区域内に特に人口集中しているが、市街化区域外においても一部集落が点在している。
- ・将来推計人口は5年毎に約2千人減少する傾向にあり、令和32年(30年後)には約4.9万人へ減少する見込み。

▼天童市の人口分布(R2現況)



■天童市の人口の推移



出典：実績値…令和2年国勢調査
推計値…R7～R27 国立社会保障・人口問題研究所(R5推計値)

R2年総人口	62,140人
R2年人口密度	549.8人/km ²

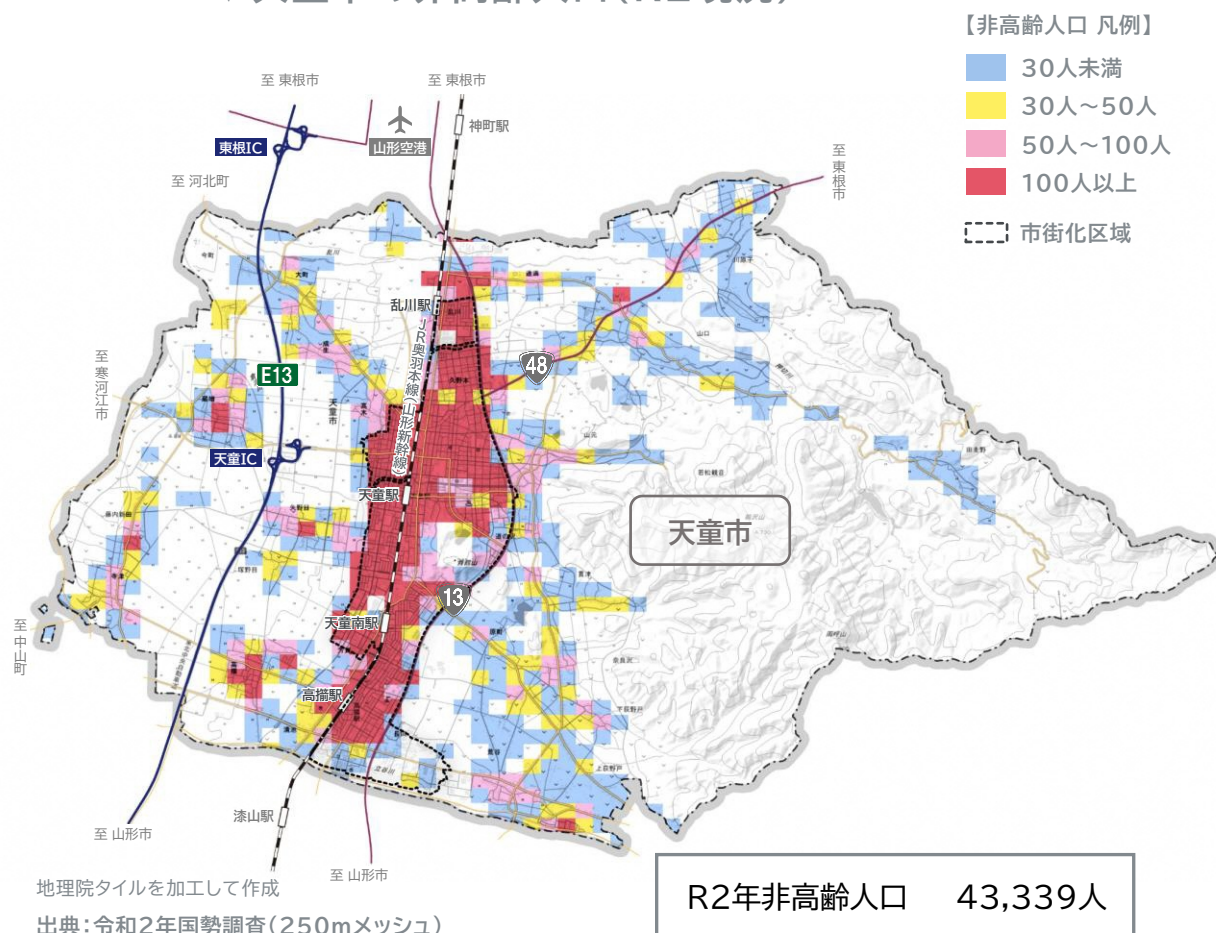
出典：令和2年国勢調査(250mメッシュ)
国土数値情報(将来推計人口データ(R6国政局推計))(250mメッシュ)



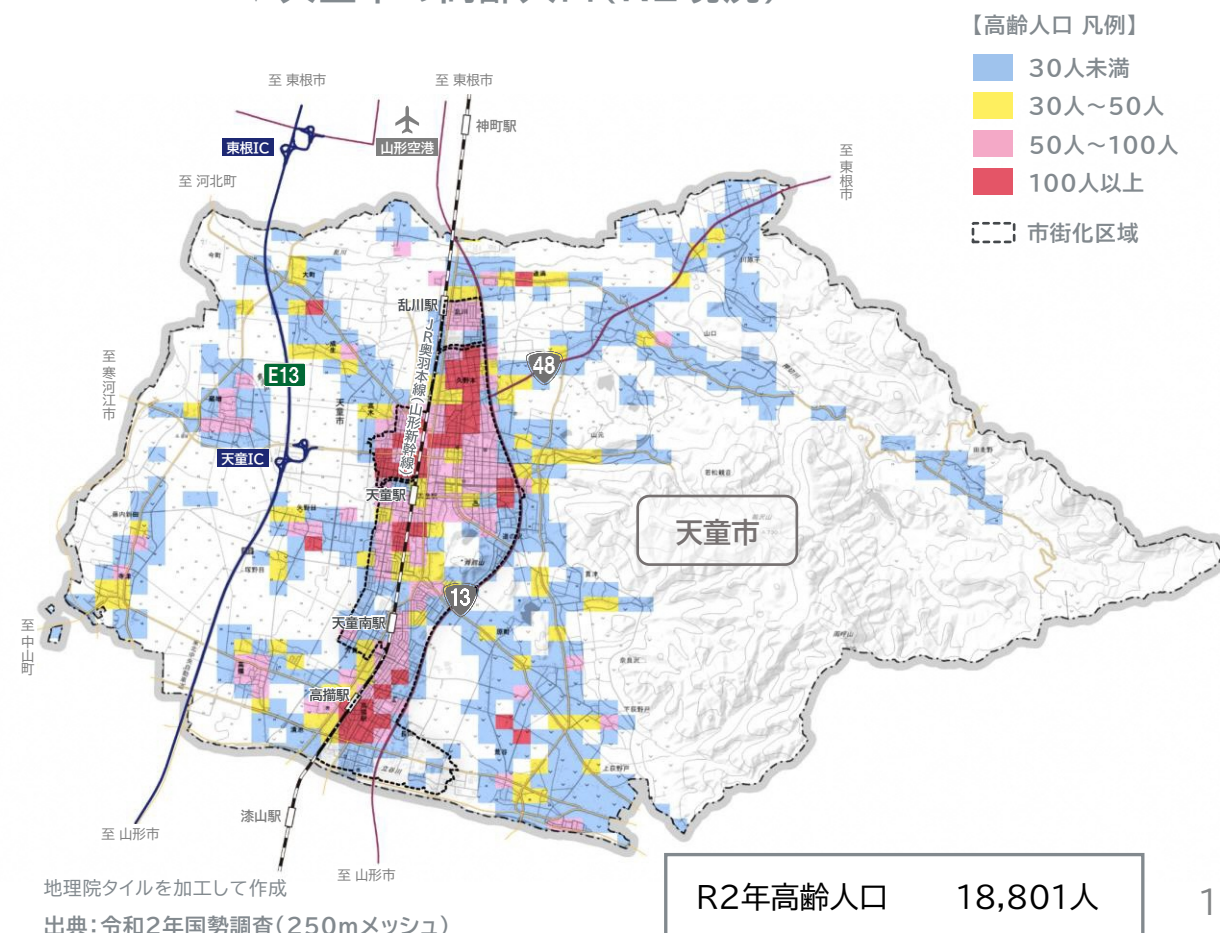
○人口分布（年齢区分別人口）

- ・天童市では高齢・非高齢者ともに市街化区域内に人口が集中している。ただし、市街化区域外においても一部集落に点在している。
- ・また、非高齢人口と比べ高齢人口が多い地域も一部見受けられる。

▼天童市の非高齢人口（R2現況）



▼天童市の高齢人口（R2現況）

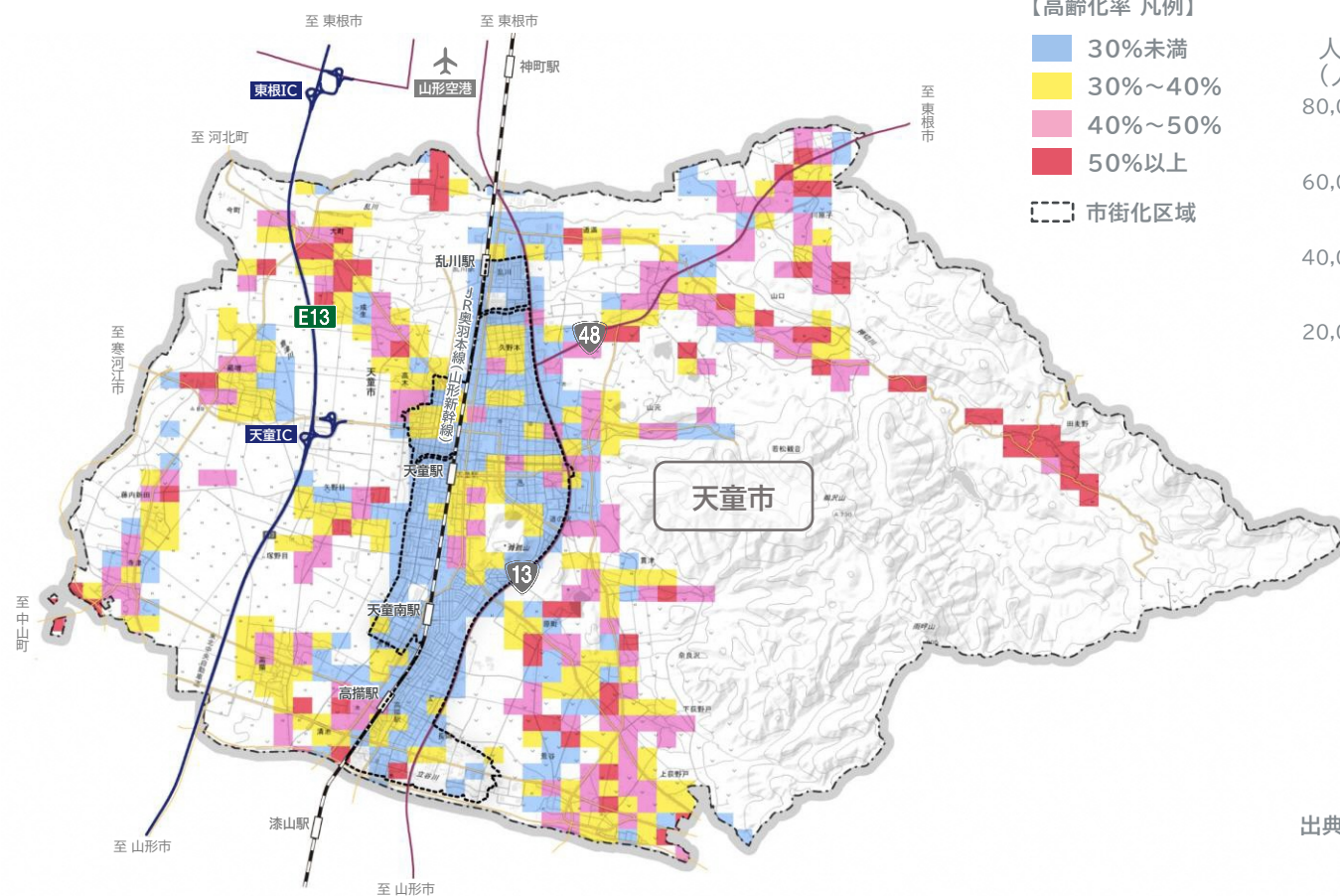




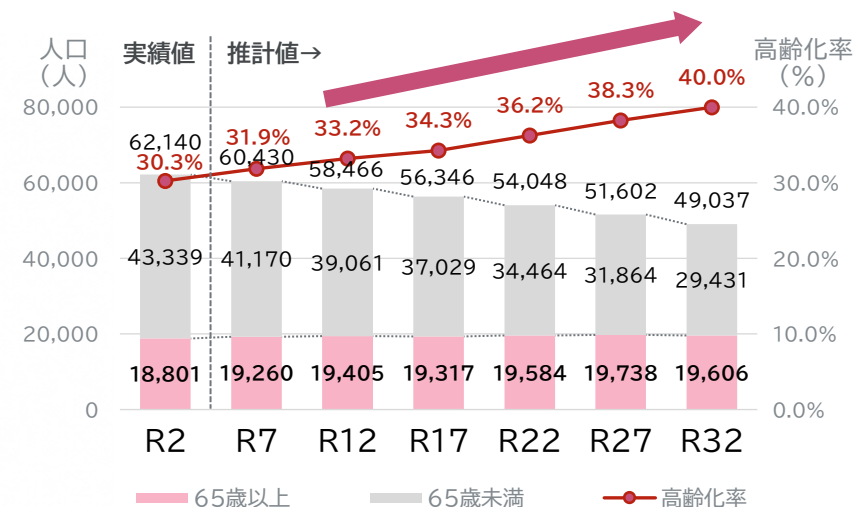
○高齢化率

- ・天童市の高齢者人口(65歳以上)は令和2年の現況で約1.9万人となっている。また、市街化区域外で40%～50%を超えるエリアが目立っており、特に東側の地域で高齢化が顕著となっている。
- ・将来的に総人口が減少する一方、高齢人口は横ばいにあるため、高齢化率が増加傾向にあり、令和32年(30年後)には40%に達する見込み。

▼天童市の高齢化率(R2現況)



■天童市の人口と高齢化率の推移



出典：令和2年国勢調査
R7～R27 国立社会保障・人口問題研究所(R5推計値)

R2年高齢人口 18,801人

R2年高齢化率 30.3%

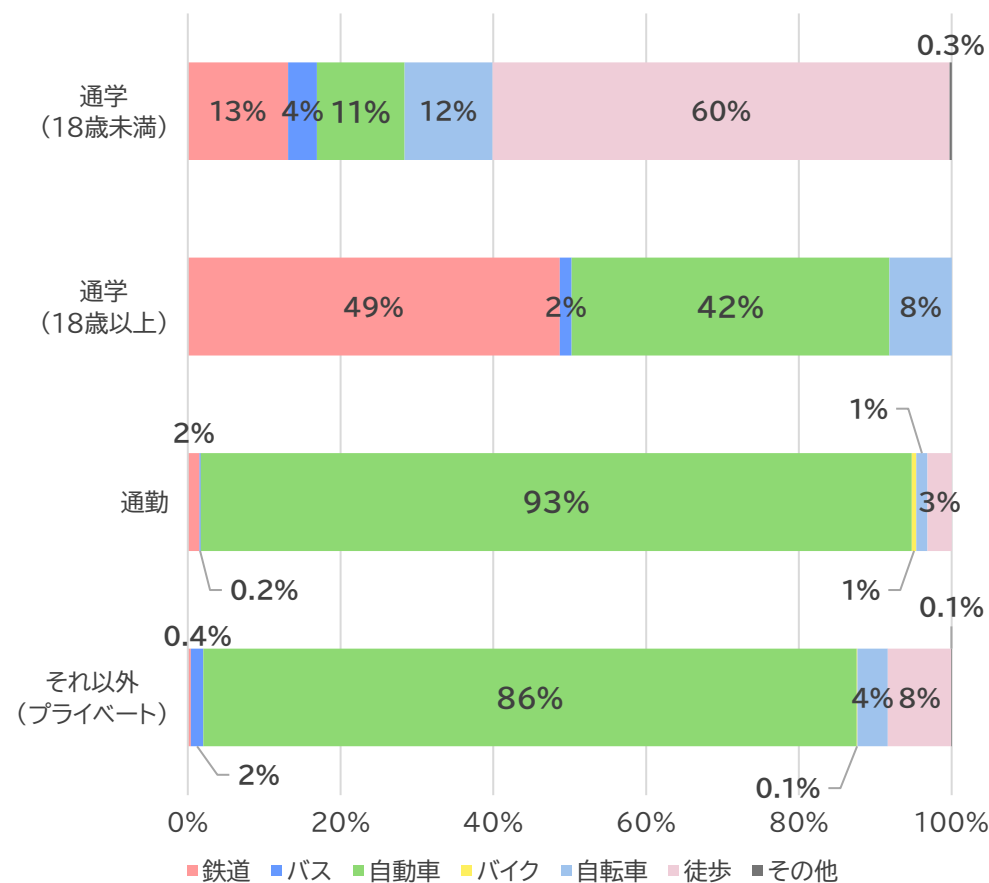
出典：令和2年国勢調査(250mメッシュ)
国土数値情報(将来推計人口データ(R6国政局推計))(250mメッシュ)



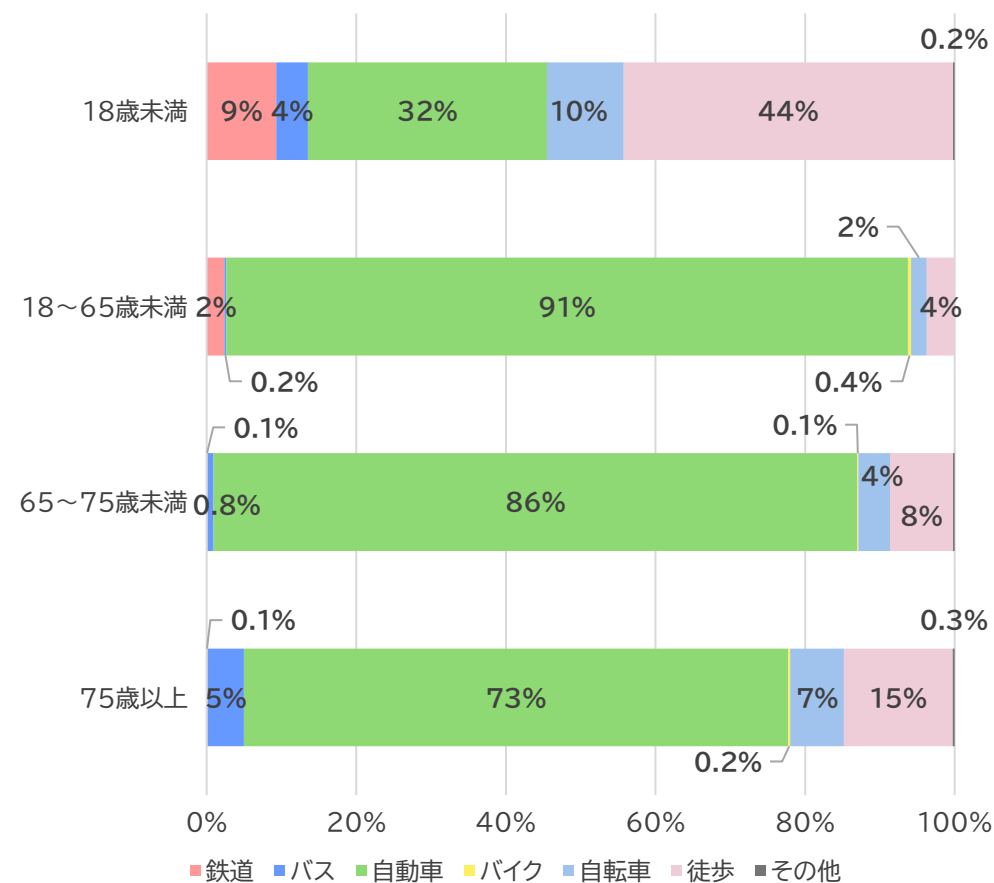
○交通手段分担率

- ・目的別では、18歳未満の通学で徒歩が約6割を占めている、18歳以上の通学においては半数以上が公共交通となっている。通勤やそれ以外の場合には自動車約9割を占めている。
- ・世代別では、公共交通利用割合は18歳未満が最も高く、次点で75歳以上である。一方、18～65歳未満、および65～75歳未満については、自動車約9割を占めている。

▼目的別



▼年齢階層別

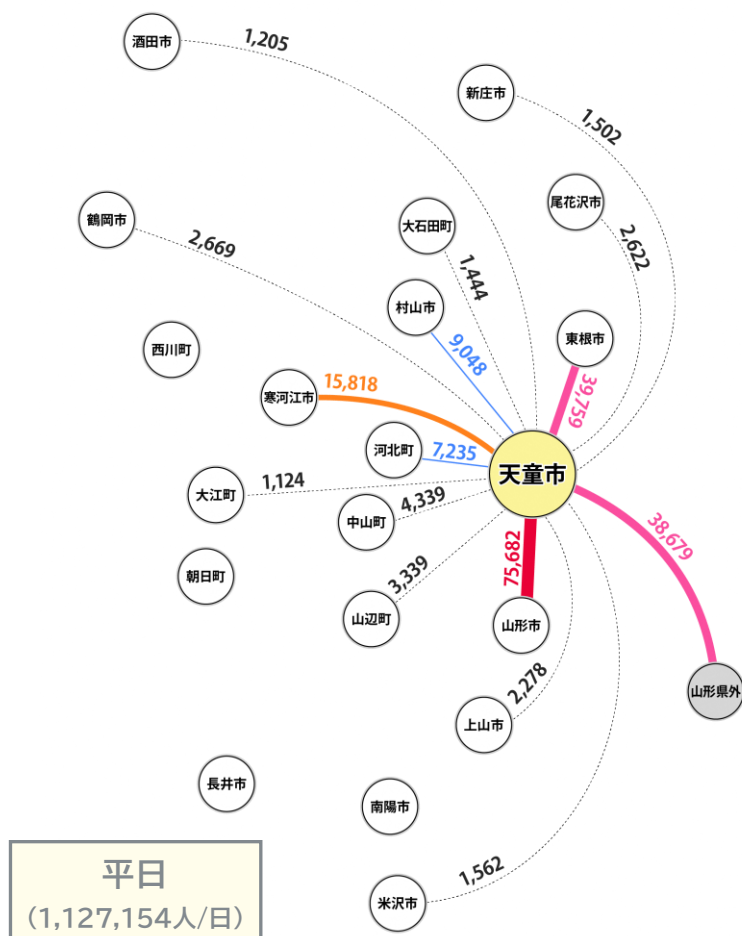




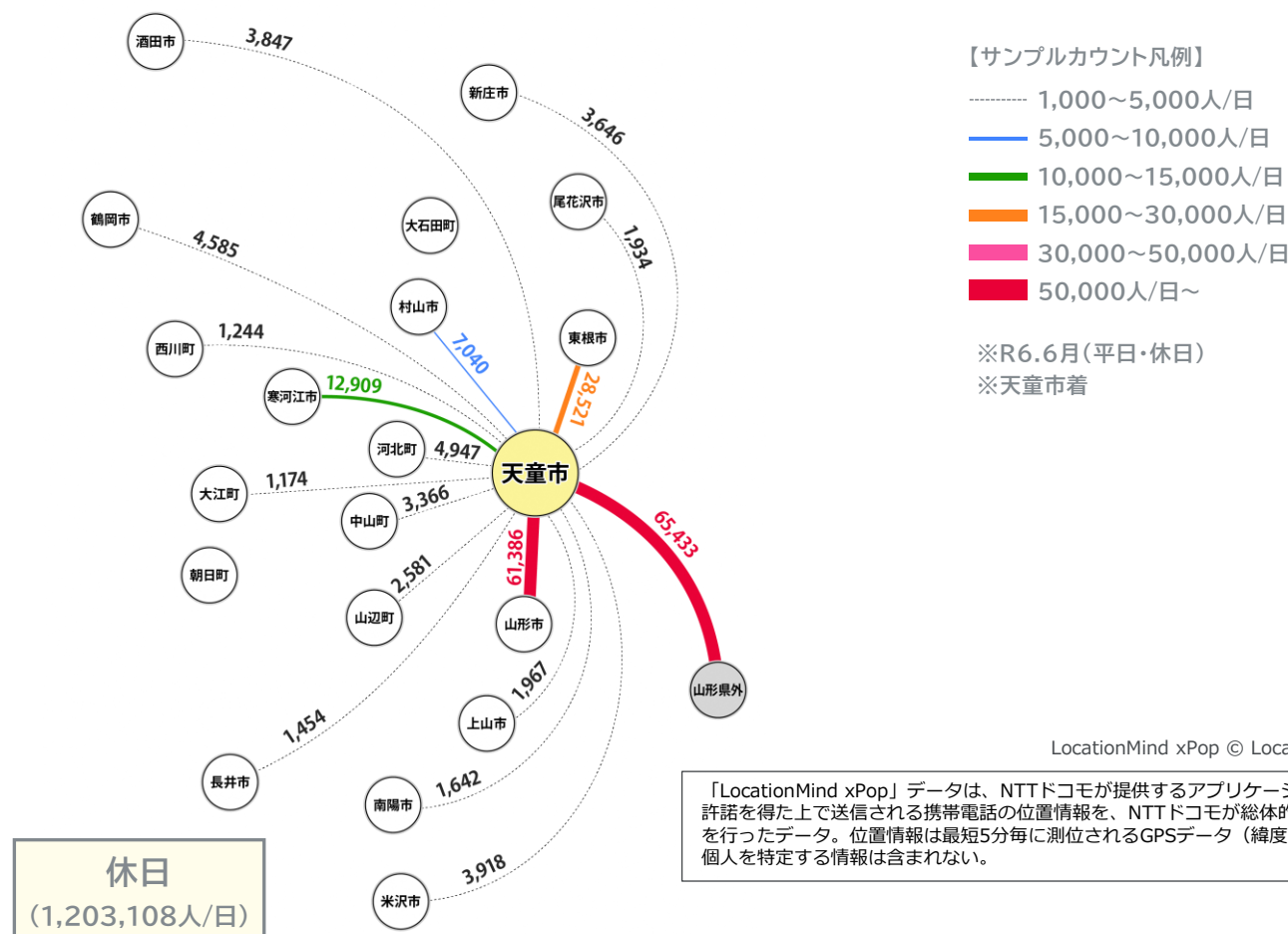
○移動量

- ・天童市着のトリップの多くは、平日・休日ともに山形市と東根市、および山形県外を出発地としている。
- ・また、休日のトリップ数は平日に比べ多く、酒田市や新庄市、米沢市など遠方からのトリップも一定数存在が確認できる。

▼天童市着 地域間流動(OD量) 平日



▼天童市着 地域間流動(OD量) 休日



【サンプルカウント凡例】

- 1,000~5,000人/日
- 5,000~10,000人/日
- 10,000~15,000人/日
- 15,000~30,000人/日
- 30,000~50,000人/日
- 50,000人/日~

※R6.6月(平日・休日)
※天童市着

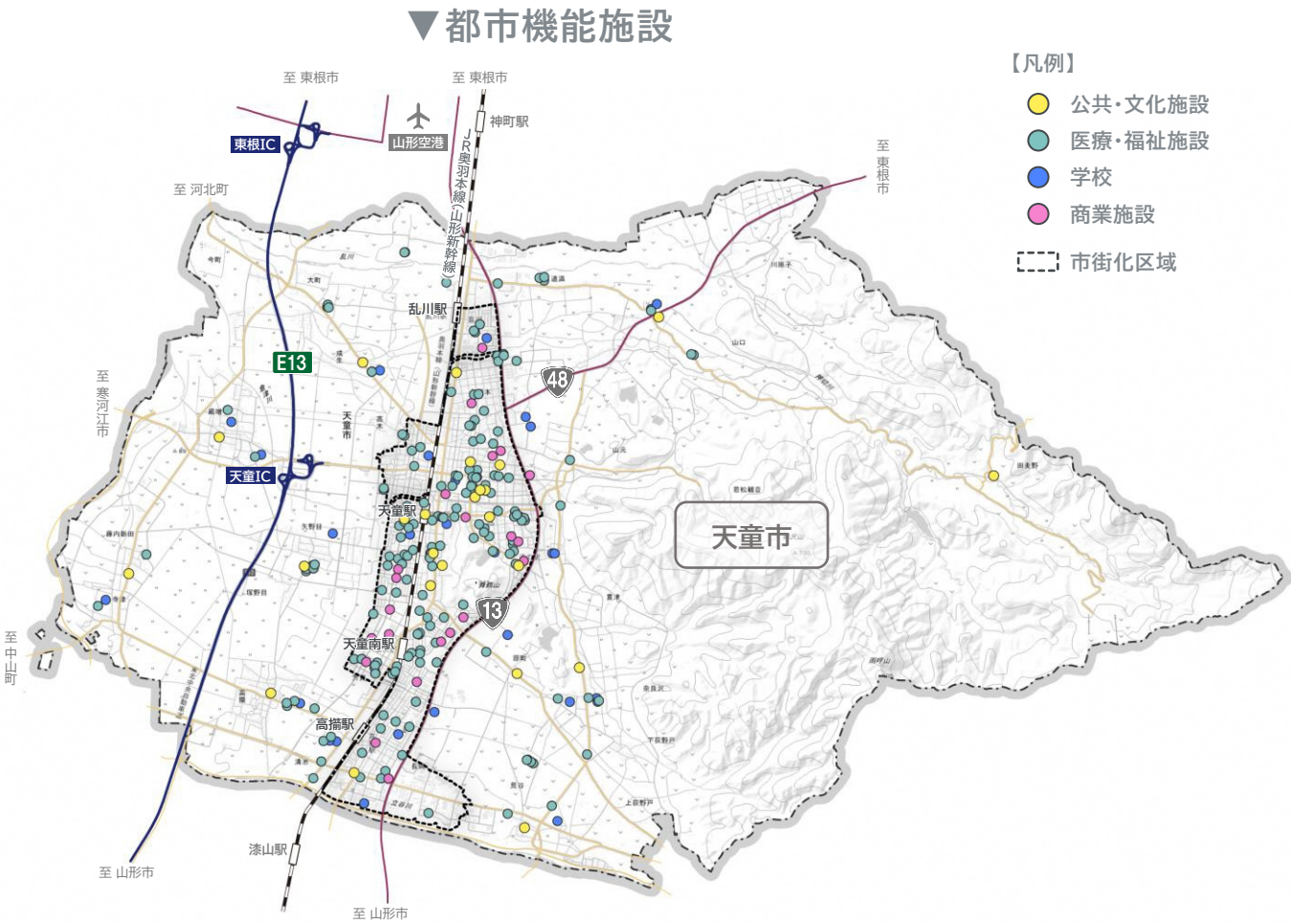
LocationMind xPop © LocationMind Inc.

「LocationMind xPop」データは、NTTドコモが提供するアプリケーションの利用者より、
承諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工
を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、
個人を特定する情報は含まれない。



○施設立地

・天童市内の都市機能施設の大半が市街化区域内に集積している。また、人口が集積している郊外部のエリアにおいても医療・福祉施設や公共・文化施設、学校が立地している。



■天童市の都市機能施設

種別	施設数
公共・文化施設	24
医療・福祉施設	227
学校	31
商業施設	22

- 公共・文化施設 …市役所、消防署、郵便局、図書館、資料館、美術館 など
- 医療・福祉施設 …病院、クリニック、歯科医院、老人ホーム、介護支援施設
地域包括支援センター、保育園 など
- 学 校 …幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学 など
- 商 業 施 設 …大型小売店(1,000㎡以上)

出典:国土数値情報(国土交通省)、全国大型小売店総覧2026(R7.6時点)

- ・天童市の観光施設への観光入込客数(令和6年時点)は約223万人となっており、コロナ禍以降、回復傾向にある。
- ・天童市内では、「わくわくランド」の観光者数が約78万人と最も多く、次いで「天童温泉」が約49万人となっている。

[illegible]

Bar chart showing the number of employees (in thousands) from H27 to R6. The Y-axis ranges from 0 to 300. The X-axis labels are H27, H28, H29, H30, R1, R2, R3, R4, R5, and R6. The values are: H27 (256), H28 (251), H29 (259), H30 (259), R1 (261), R2 (125), R3 (140), R4 (206), R5 (217), and R6 (223). A red arrow points from R3 to R6, indicating a recovery trend. A red box with the text '回復傾向' (Recovery trend) is placed over the bars for R4, R5, and R6. A vertical label '震災' (Earthquake) is placed next to the bar for R2.

Period	Number of Employees (thousands)
H27	256
H28	251
H29	259
H30	259
R1	261
R2	125
R3	140
R4	206
R5	217
R6	223

2024年観光入込客数計 22,272万人

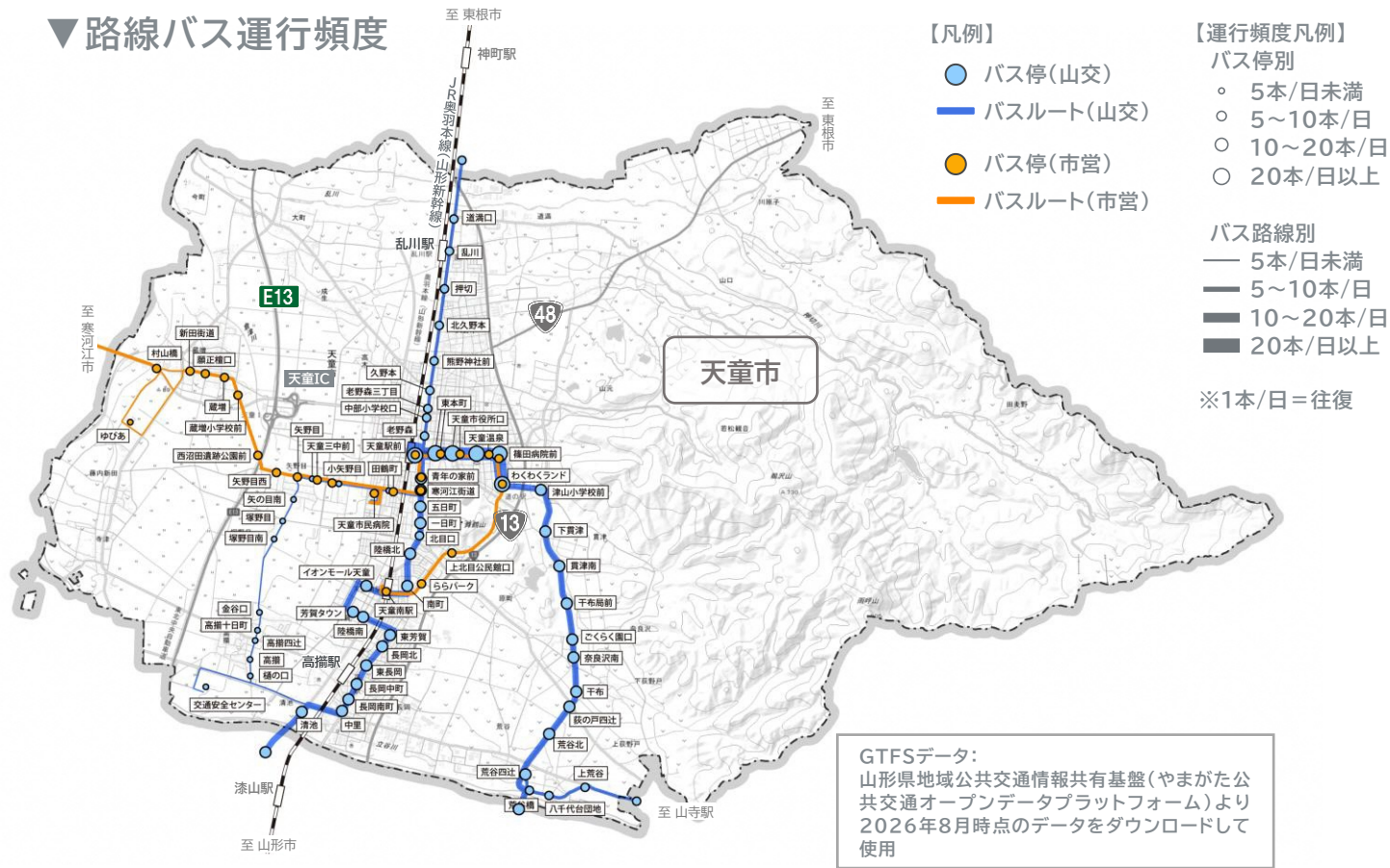
出典：山形県観光者数調査



○バスの運行頻度（路線バス・市営バス）

- ・天童市では、山交バスが主に南北方向、市営バスが天童駅周辺～寒河江市の東西方向に運行している。
- ・運行本数を見ると、山交バス・市営バスともに走行している「天童駅」～「わくわくランド」間が最も多い。
- ・山交バスの運行状況は、山形市方面とは2系統で結ばれている一方、東根市方面は1系統で本数も山形市方面より少ない状況。
- ・市営バスの運行本数は6～7本/日（日曜日・祝日は運行なし）で、ゆびあを経由するルートは3本/日となっている。

▼路線バス運行頻度

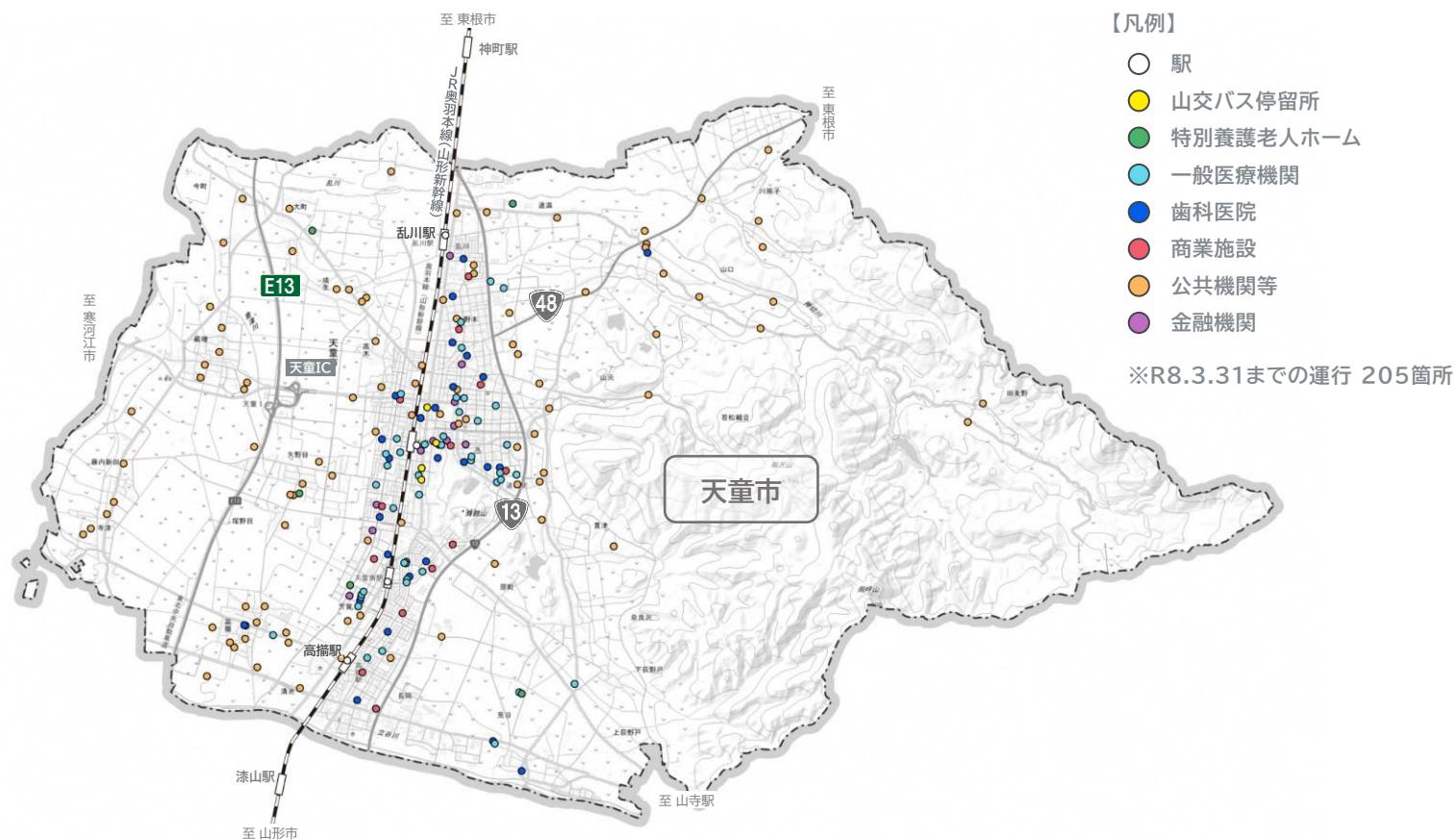




○バスの運行頻度(DOMOSU)

- ・天童市では市内全域を自宅から目的地まで送迎する乗り合い交通「DOMOSU(ドモス)」を運行している。
- ・利用するには事前登録が必要となり、月～土曜日の8時～17時まで1時間毎に運行している。

▼天童市予約制乗合タクシー(DOMOSU)目的地

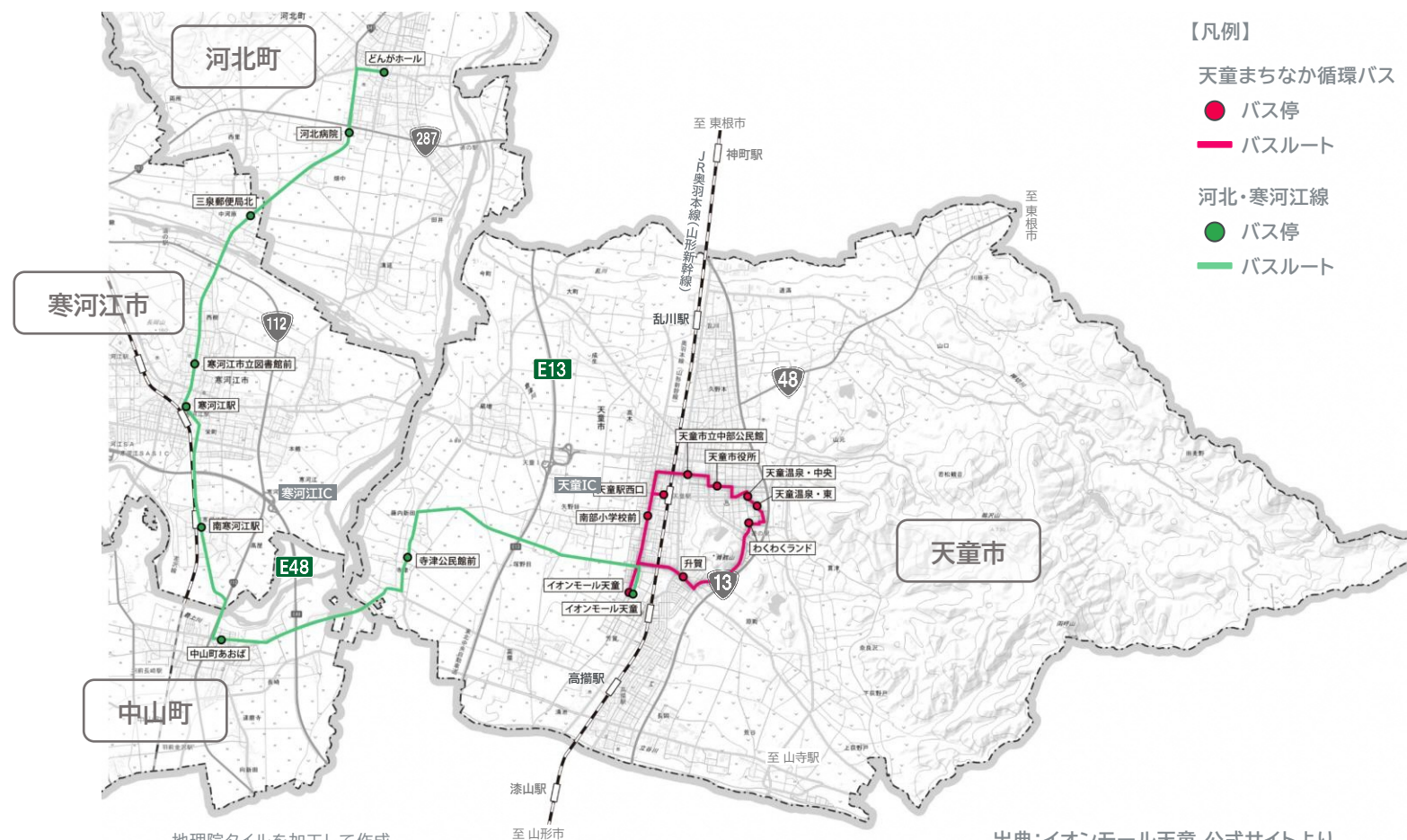




○バスの運行頻度（天童まちなか循環バス／河北・寒河江線）

- ・イオンモール天童は無料シャトルバスとして「天童まちなか循環バス」と「河北・寒河江線」を運行している。
- ・天童まちなか循環バスは平日のみで5本/日、河北・寒河江線は平日・休日ともに上下計で6本/日運行している。

▼無料シャトルバス運行経路





○現状まとめ

- ・天童市の地域特性、運行状況の現状を以下に示す。

地域特性

- ・令和2年時点で約6.2万人となっており、30年後には約4.9万人に減少する見込み。高齢化率も増加傾向にあり30年後には40％に達する見込み。
- ・都市機能施設の大半は人口密度が非常に高い市街地に集積しコンパクトシティを形成しているほか、人口が集積する郊外部にも医療・福祉施設や公共・文化施設、学校などが立地している。
- ・観光入込客数はコロナ禍以降に回復傾向にあり、「わくわくランド」が約78万人と最も多く、次いで「天童温泉」が約49万人となっている。

運行状況

- ・通勤やプライベートの移動については約9割が自動車利用となっている。高齢であるほどバスの分担率が高い傾向がある。
- ・天童市関連の移動は山形市が最も多く、次いで東根市、寒河江市が多い傾向にある。
- ・バスの運行状況についても、移動量の多い山形市方面の運行本数が多く、東根市、寒河江市方面にも運行している。
- ・路線バスの空白・不便地域についてはデマンド型のDOMOSU(ドモス)が運行している。

今後の検討方針

- ・公共交通の利用実態を把握
⇒交通事業者より提供を受けた利用実態を分析
- ・バス利用者、鉄道利用者、通学者の移動実態や移動ニーズの把握
⇒実施済み調査のとりまとめと学生・保護者アンケート調査、住民懇談会の実施
- ・関係分野で取り組んでいる交通施策との連携
⇒関係機関へのヒアリング結果のとりまとめ